

令和3年 6月21日(月)  
令和3年度 第1回  
大阪府河川構造物等審議会  
三大水門景観検討部会

資料 1

---

---

# 安治川水門の景観検討の進め方について

---

---

## 【諮問】 改築する三大水門の景観に関する事項について(R2. 7. 2)

1. 改築する三大水門の景観検討方針について
2. 木津川水門の景観設計において配慮すべき事項について
3. 安治川水門の景観設計において配慮すべき事項について



## 【答申】 改築する三大水門の景観に関する事項について(R3. 1. 29)

1. 改築する三大水門の景観検討方針について
2. 木津川水門の景観設計において配慮すべき事項について



## 令和3年度 第1回 大阪府河川構造物等審議会 三大水門景観検討部会

### 【議題】 安治川水門の景観検討方針に沿った検討の進め方について

≪景観方針・検討の進め方(安治川水門)≫

#### ■景観方針

- ・ 安全・安心のシンボル(水都大阪の再生に資する取組やまちづくり計画も考慮)

#### ■検討の進め方

- ・ 新水門に期待する付加価値や水門周辺に期待する姿や景観などについて、**アイデアコンペの開催を検討するなど、広くアイデアを募集する。**
- ・ アイデア募集の結果も参考に本部会において、景観設計上のコンセプト及び、配慮すべき事項を決定する

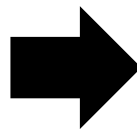
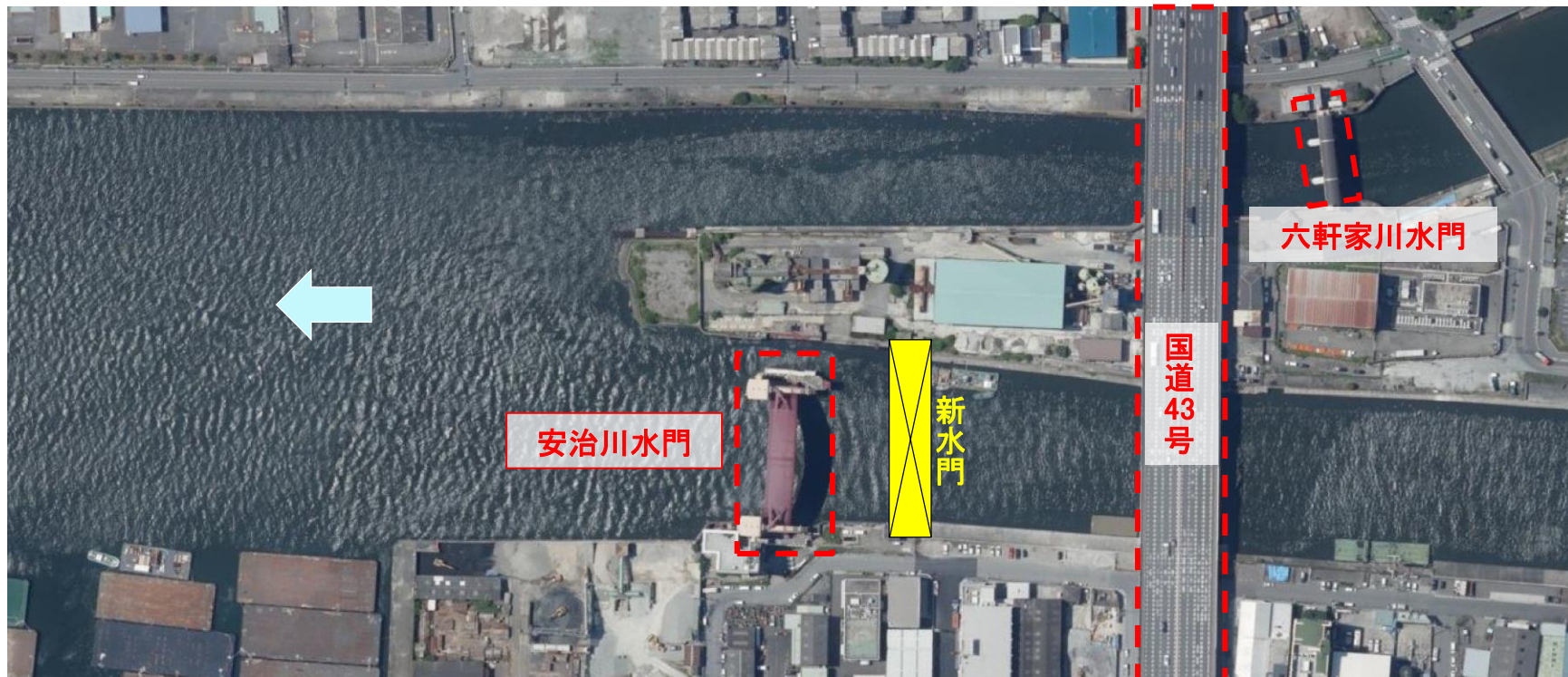
改築する三大水門の景観に関する事項について(R3.1.29答申)抜粋

# 整備位置図（広域図）





# 整備位置図（拡大図）



※詳細な位置やデザインについては、今後の詳細設計で変更する可能性がある。

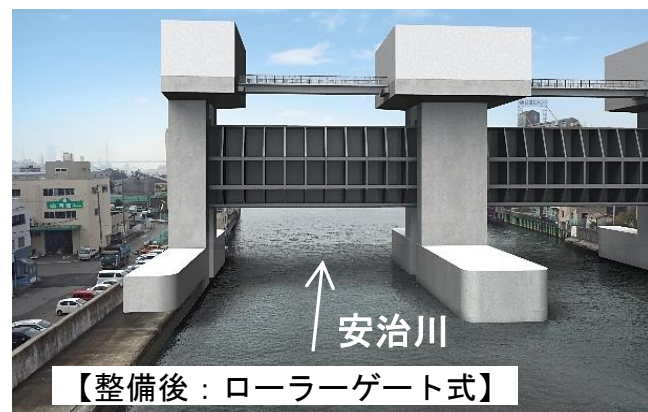


図 水門改築イメージ図

## 【設計条件】

- ① 水門位置は現水門の直上流とする。
- ② 引上げ式構造ローラーゲートの2門形式とする。
- ③ 扉体はステンレスのため、塗装はしない。



図 木津川水門基本検討時における完成イメージ  
（①～③の要件をすべて満たした水門のイメージ）



- 大阪のベイエリアは2025年日本国際博覧会開催やIRを含む国際観光拠点形成に向け、夢洲地区の整備が計画されている。
- 舟運については、夢洲という新たな目的地による新航路の設定や船便の増強による利便性向上が検討されており、安治川はベイエリアと中之島エリアを結ぶ東西軸として重要度が増している。

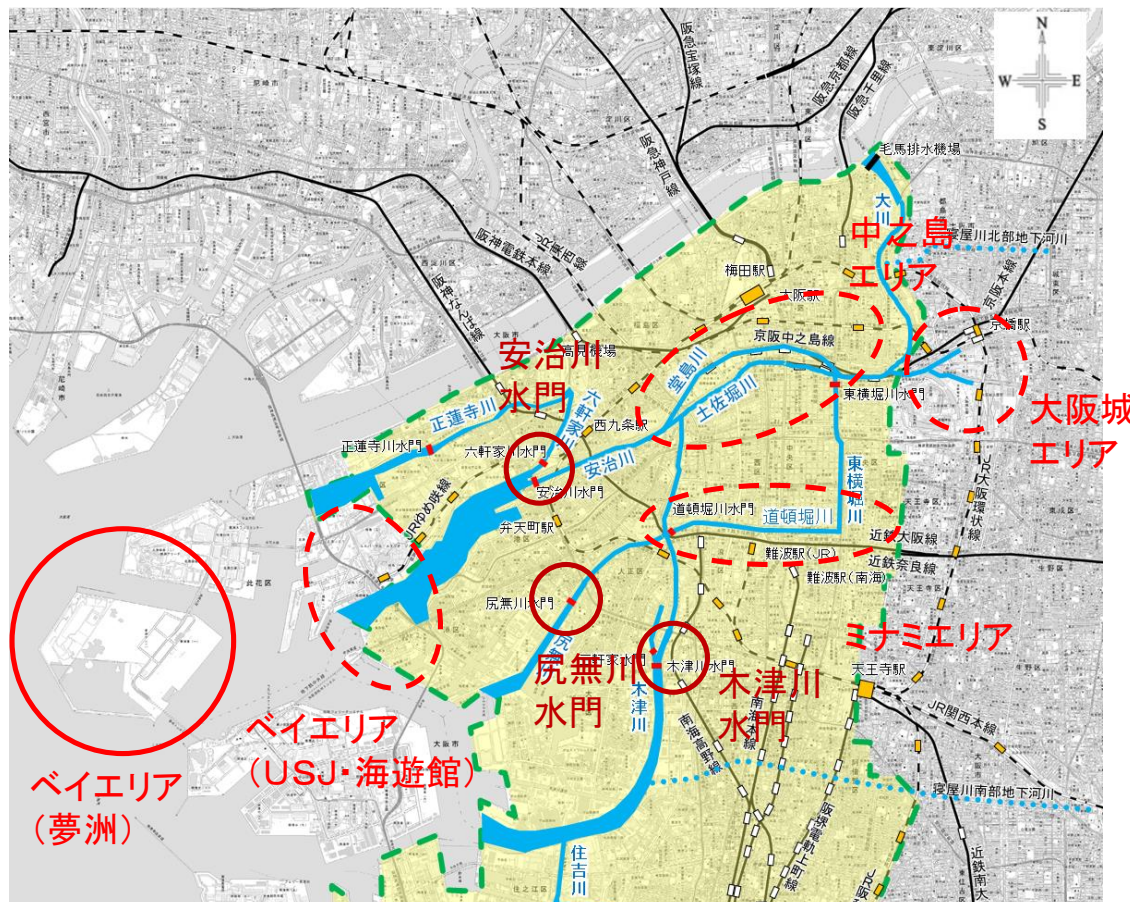


図 大阪市内中心部とベイエリア



北浜テラス(中之島エリア)

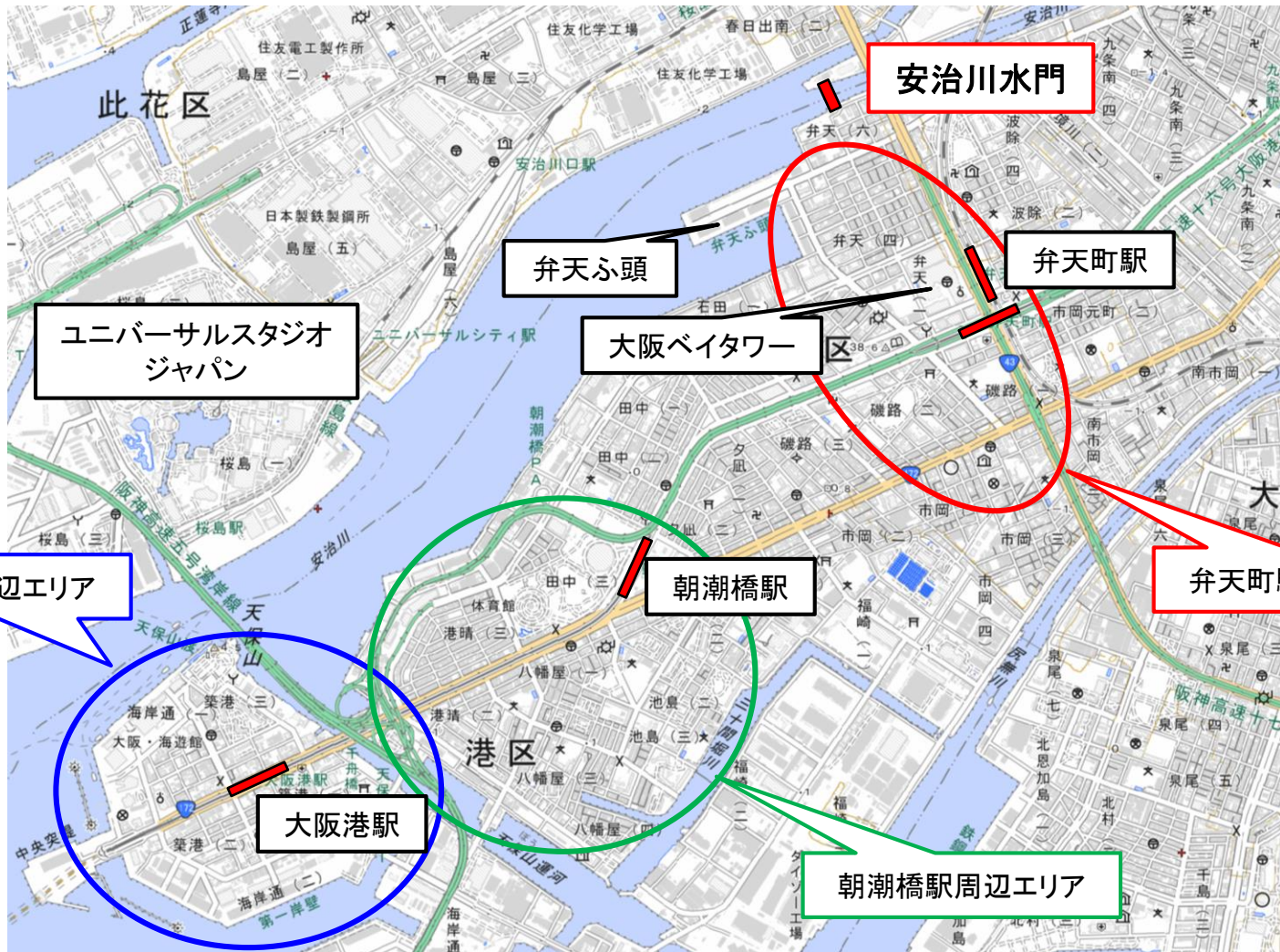


道頓堀川のにぎわい(ミナミエリア)



# 港区エリア別活性化プラン（案）

- ・ 港区では、まちづくりの方向性を示した「港区まちづくりビジョン」で掲げた施策との連携を図り、各エリアの活性化にむけた取組の方向性を示す「港区エリア別活性化プラン」を策定した。
- ・ 安治川水門周辺の東部エリアでは、「大阪ベイタワーを中心とした弁天町駅周辺エリアのにぎわいの創出」や「水辺空間の利活用の推進」などが示されている。





# 港区による舟運社会実験について

- ・ 港区役所では、令和2年11月に舟運を活用した水辺の魅力やまちのにぎわい創出を目的とした社会実験を開催した。
- ・ 参加者からは、弁天埠頭～舞洲航路について概ね高評価を得られた。

令和2年度 海とまちをつなぐ公民連携にぎわい創出事業

**WALK & STAMP RALLY**

かつての四国・瀬戸内航路に想いをよせて...

ノスタルジック弁天町

2020 11.15 SUNDAY 11:00~17:00

海まち弁天 STREET GO to SEA

ミライみなと弁天町

大阪・関西万博2025に向けて 舟運社会実験

**RIDE & CYCLING**

FUNE KARA MITARA ITSUMONO MACHI GA CHIGATTE INERUDE!!!

主催：大阪市港区役所 企画運営：一般社団法人港まちづくり協議会大阪。(協)キャプテンライン  
 協力：大阪ベイタワー合同会社、OpenStreet(株)、オーク井天橋造船、海名品店共同組合、  
 大阪市港業船同組合、豊島興物西本舗、香川興、麗屋興、高知興各大阪事務所

お問合せはこちら

06-6576-9208 06-6572-0017

詳細は港まちづくり協議会大阪 WEB ページで随時チェック!

開催日：令和2年11月15日

目的：舟運を活用した水辺の魅力創出  
 水辺と連動したまちのにぎわい創出  
 湾岸エリアの回遊ルートの創出

舟運社会実験の参加者：52名



## 主な意見

- 初めて海から港区や此花区のまちを見て、素晴らしく感動した
- 海からの景色が新鮮でした
- 舞洲へ行くのに意外と便利



## ●河川空間の利活用(三大水門関連部分の抜粋)

三大水門(安治川水門・尻無川水門・木津川水門)の改築にあたっては、水門の周辺状況を考慮し、現水門同様に地域のシンボルとなるデザインとするなど、良好な河川景観形成を図ります。また、さらなる発展が見込まれるベイエリアと大阪の中心市街地を結ぶ舟運の中間に位置することから水都大阪の水辺空間などまちの賑わいのある河川景観の形成にも配慮します。

**特に、安治川筋は、水都大阪の中心である中之島エリアと2025年に開催が決定した大阪・関西万博の会場である夢洲を含むベイエリアとを結ぶ主要な舟運ルートとなり、今後、周辺部でさらなる舟運の活性化が予想され、眺望景観及び夜間景観の魅力を高める取り組みが求められています。**

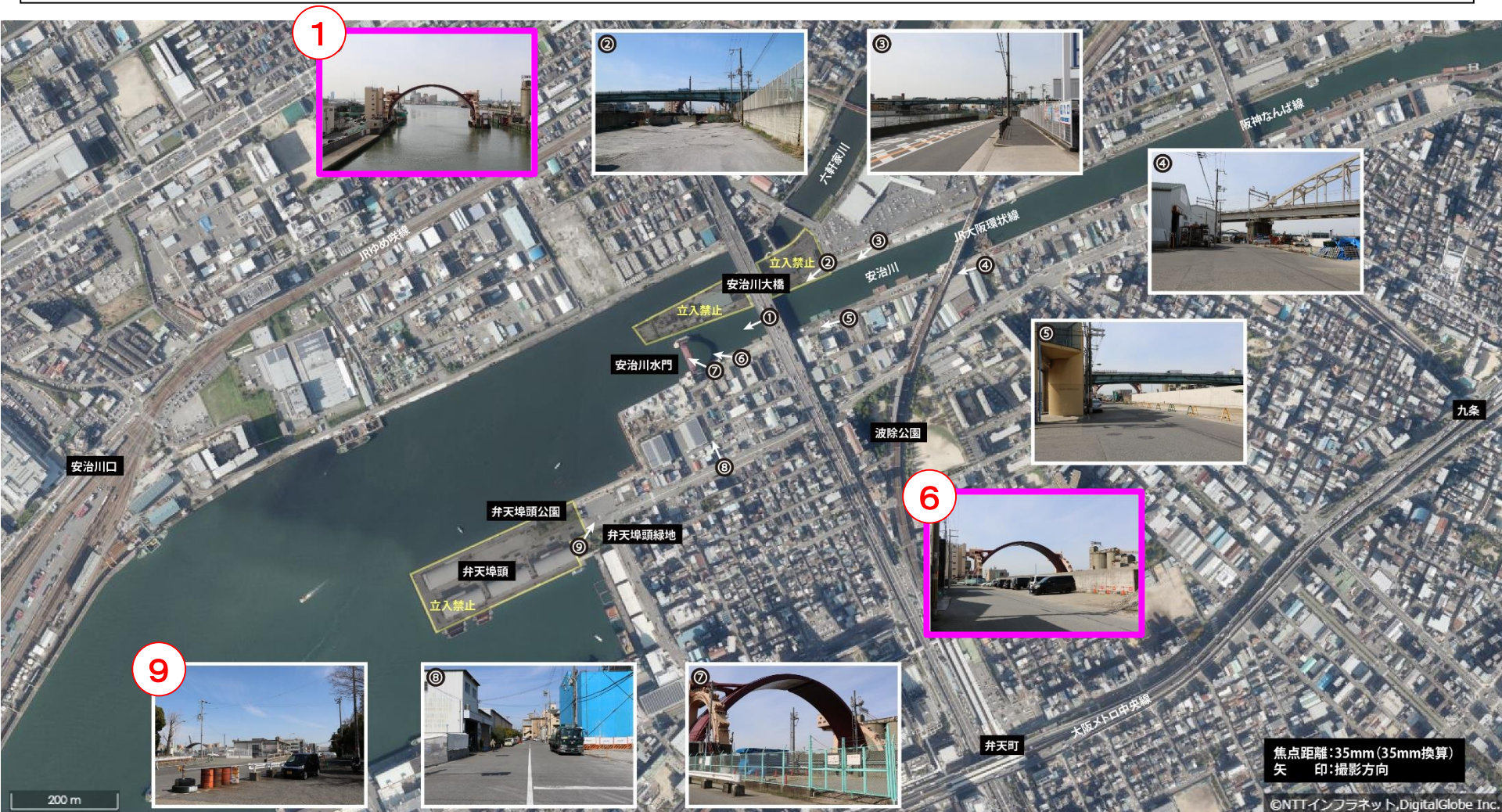


● 木津川水門



# 視点場調査 (現況)

- ・ 安治川水門周辺(陸部)からは、水門上流側の①安治川大橋や⑥右岸道路が水門への視点を主要視点場とする。
- ・ 水門下流側では弁天埠頭の再開発計画によっては⑨埠頭が主要視点場となる可能性はある。

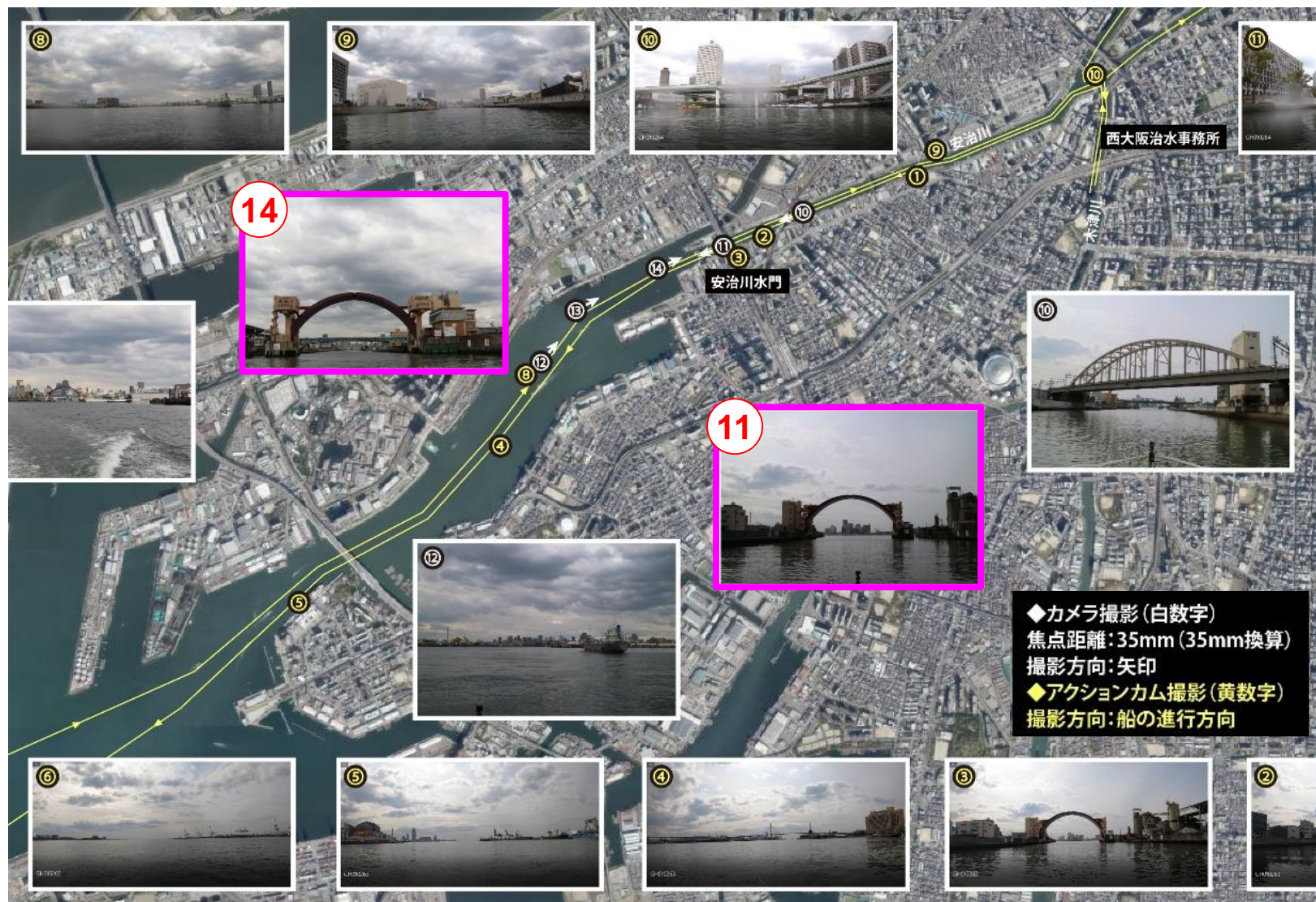


: 主要視点場



# 視点場調査 (将来)

- ・ 将来の舟運ルートを設定した乗船視点場調査も実施した。⑪⑭の水門の直上下流からの視点も将来的には主要視点場となる。



: 主要視点場

安治川水門における「景観方針」・「検討の進め方」を実現するため、「**新水門に期待する付加価値や水門周辺に期待する姿や景観について、広くアイデアを募集**」できる手法について、「土木設計競技ガイドライン・同解説+資料集(土木学会 建設マネジメント委員会)」を参考に選定する

## 《設計にかかる公共調達手法の概要》

	価格競争方式	プロポーザル方式	設計競技方式
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札価格の多寡によって落札者を決定する方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的デザインを競うのではなく、業務に対する技術的方针や考え方を競い、最も優れている設計者を選定する方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象とする施設や空間に求める機能や条件を発注者側から示し、その機能や条件に合致した設計案を募り、最も優れた設計案を選ぶ方式。</li> </ul>
選定対象	価格	設計者(人)	設計案(デザイン)
適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ仕様が確定しており、一定の資格・成績等を付することにより品質を確保できる場合に用いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術的に高度または専門的な知識が要求され、提出された技術提案にもとづき仕様を作成する方が優れた成果を期待できる場合に用いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的なデザインを競争することにより、通常的设计業務では、発案されないようなデザインを期待する場合に用いる。</li> </ul>



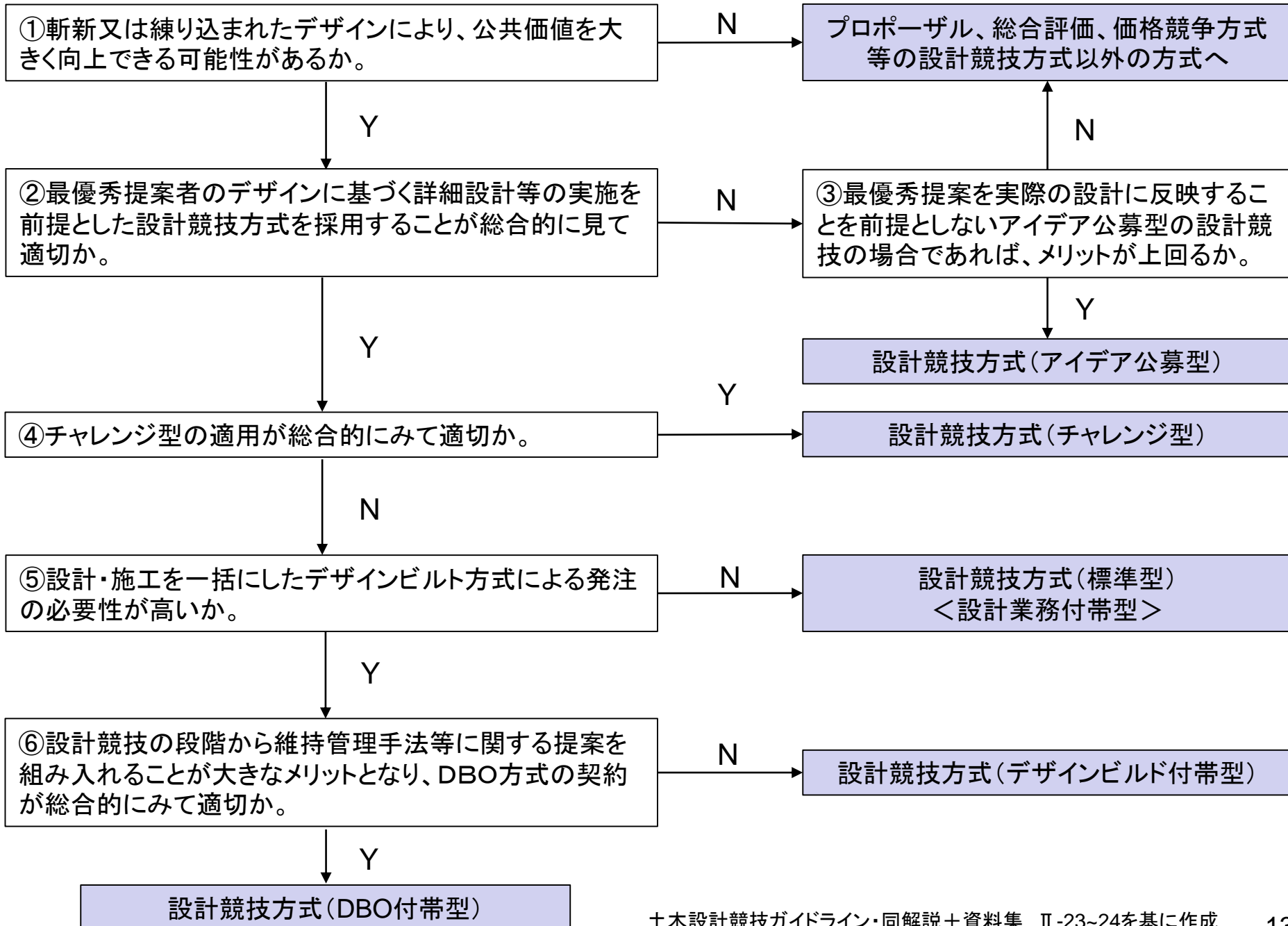
・ 技術的方针や設計ではなく、**広いアイデアの中から安治川水門に求める景観設計上のコンセプト等を求めることを目的とするため、設計競技方式による手法を採用する。**



# 設計競技方式の種類

	アイデア公募型	チャレンジ型	標準型 (設計業務付帯型)	デザインビルド 付帯型	DBO付帯型
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント性を主目的とし、必ずしも実現を前提としない方式</li> <li>広く公募したアイデアをその後の計画の参考としたり、事業への人々の関心や理解を高めるためのイベント、または教育目的で実施したりするもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な専門能力を有しない者も対象に、多様な視点や才能から幅広くデザインを募集する方式</li> <li>規模が小さく、技術的難易度の低い対象物に限定される必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定された設計案を基本とした詳細設計までの業務の実施権を与える設計競技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定された設計案を基本とした設計及び施工の実施権を与える設計競技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定された設計案を基本とした詳細設計、施工及び管理・運営を実施する優先交渉権を与える設計競技</li> </ul>
競争参加者	一般の方も含むすべて	土木分野の設計技術に関する高度な専門能力を有しない者	高度な専門性を有する建設コンサルタント	施工者(ゼネコン、橋梁メーカー等) (建設コンサルとのJV等でも可)	コンソーシアム(設計・施工・運営維持管理棟の各業務の担当企業が構成員となる)
審査対象	アイデア	設計	設計	設計・施工	設計・施工 運営維持管理

# 設計競技方式の選定フロー





# 選定フローに基づく設計競技方式の検討 (①・②)

## ①斬新又は練り込まれたデザインにより、公共価値を大きく向上できる可能性があるか。→Yes

- ・ 現安治川水門は、既に地域のシンボルとして親しまれている。
- ・ 安治川は、ベイエリアと市中心部を結ぶメインの舟運ルートであり、水門周辺での再開発計画もある。
- ・ 優れたアイデアやデザインを採用することにより、事業の公共価値が大きく向上できる可能性がある。

## ②最優秀提案に基づく詳細設計の実施を前提とした設計競技方式を採用することが適切か。→No

視 点		②詳細設計の実施を前提	
1	市民の関心や社会的認知度が高まることが期待される。	● 府民に対する意見募集等の工夫により、関心や話題性を集めることが期待できる。	○
2	優れたアイデア・デザインや新たな設計思想等が生まれる可能性がある。	● 詳細設計の実施を前提とした場合、高潮・津波対策水門として必要な機能や確実性が重視されたデザインばかりとなってしまう、広くアイデアが募集できない。	×
3	設計・施工の段階まで進まない可能性がある。	● 事業完了目標時期は決まっており、設計・施工の段階に進まない可能性はない。	○
4	発注者、応募者それぞれに手間がかかる。	● 賞金や十分な提案期間の設けるなどの配慮を行う。	○
5	設計・施工の段階で、安全性・施工性等の課題となるリスクがある	● 高潮・津波対策水門として必要な機能や確実性を担保した詳細設計を行うことが前提であるため、安全性・施工性等の課題となるリスクは少ない。	○
6	事業期間	● 一般的な競争入札に比べると、時間がかかるが、事業完了目標時期に影響を及ぼすものではない。	○
7	参加者の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本有数の大規模水門の詳細設計であるため詳細設計を実施するためには、高度な技術力を有するため、参加者が少なくなる可能性がある。</li> <li>● 不人気な設計競技になった場合、事業の遅延や満足できないデザインで妥協することもある。</li> </ul>	×

- ・ 本事業の**設計競技で目的としている「広くアイデアを募集する」という目的が果たせない可能性がある。**
- ・ 日本有数の大規模水門設計であり、**高度な技術力が必要となることから不人気な設計競技になる可能性がある。**

# 選定フローに基づく設計競技方式の検討 (③)

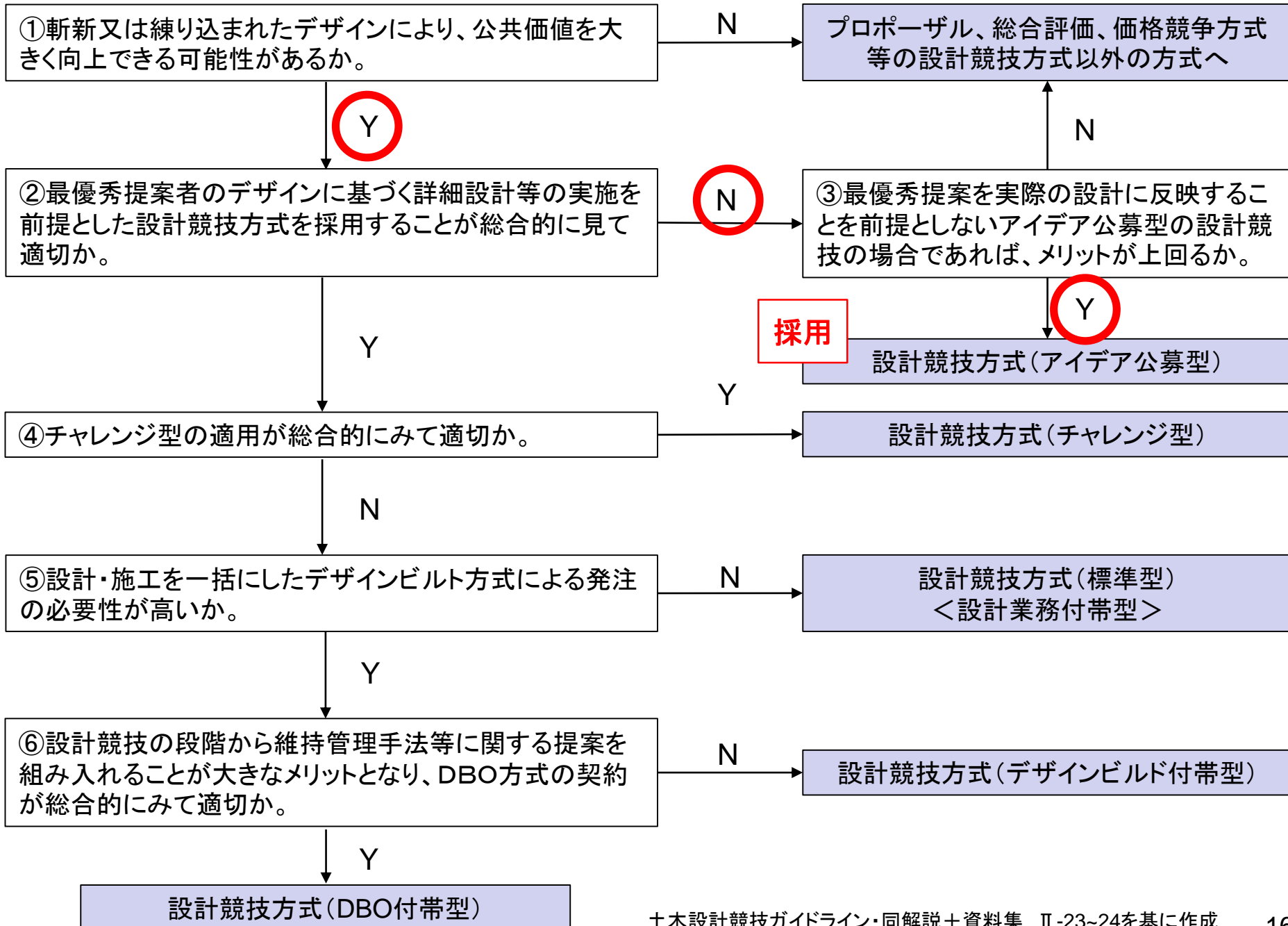
## ③最優秀提案を前提としないアイデア公募型の設計競技の場合であれば、メリットはあるか。⇒Yes

視 点		③アイデア公募型	
1	市民の関心や社会的認知度が高まることが期待される。	● 一般を対象とし、小学生の部を設けるなど工夫すれば、より府民の関心や話題性を集めることができる。	◎
2	優れたアイデア・デザインや新たな設計思想等が生まれる可能性がある。	● 求めるアイデアの水準を自由に設定することができ、異分野からも応募可能であるため、新たな考え方が生まれる可能性は高い。	◎
3	設計・施工の段階まで進まない可能性がある。	● 事業完了目標時期は決まっており、設計・施工の段階に進まない可能性はない。	○
4	発注者、応募者それぞれに手間がかかる。	● 賞金や十分な提案期間を設けるなどの配慮を行う。	○
5	設計・施工の段階で、安全性・施工性等の課題となるリスクがある	● デザインのアイデアを参考とすることが目的であるため、詳細設計を行う段階で精査することが可能。	○
6	事業期間	● アイデア公募の結果を受け、詳細設計を実施するため、事業期間は②よりも長くなるが問題ない。	○
7	参加者の確保	● 競争参加者に制限はなく、門戸は広い。	◎

- ・ アイデア公募型は、デザインの自由度を設定でき、参加者の門戸を広げやすいため、**「広いアイデアの募集」という目的を達成しやすい。**
- ・ 小学生の部を設けるなど工夫すれば、より府民の関心や話題性を集めることができ、**「防災教育や地域の関心を高めることができる。」**
- ・ 本コンペで得られたアイデアを参考に、**「景観設計上のコンセプト及び配慮すべき事項を決定した後、詳細設計を実施することで手戻りを少なくすることが可能。」**



# 設計競技方式の選定フロー（結果）



# 選定フローを踏まえた設計競技方式の検討結果

- 安治川水門の設計競技方式としては、**広くアイデアを募集できる**ことや**防災教育や地域の関心を高めることができる**「アイデア公募型」を採用したい。

設計競技方式 (種類)	評価		審査対象
アイデア公募型	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインの自由度を設定でき、参加者の門戸を広げやすいため、<b>「広いアイデアの募集」が可能。</b></li> <li>小学生の部を設けるなど工夫すれば、より府民の関心や話題性を集めることができ、<b>防災教育や地域の関心を高めることが可能。</b></li> </ul>	◎	アイデア
チャレンジ型	<ul style="list-style-type: none"> <li>土木分野の設計技術に関する高度な専門能力を必要とするため、適さない。</li> </ul>	×	設計
標準型 (設計業務付帯型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準的な設計競技方式であり、適合性があるが、<b>広くアイデアを募集する</b>という目的が果たせない可能性がある。</li> <li>日本有数の大規模水門設計であり、<b>高度な技術力が必要となることから不人気な設計競技になる可能性がある。</b></li> </ul>	△	設計
デザインビルド付帯型	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計、施工を一括で発注するメリットは少ない。</li> </ul>	×	設計・施工
DBO付帯型	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理、運営を民間にゆだねる予定がない。</li> </ul>	×	設計・施工 運営維持管理